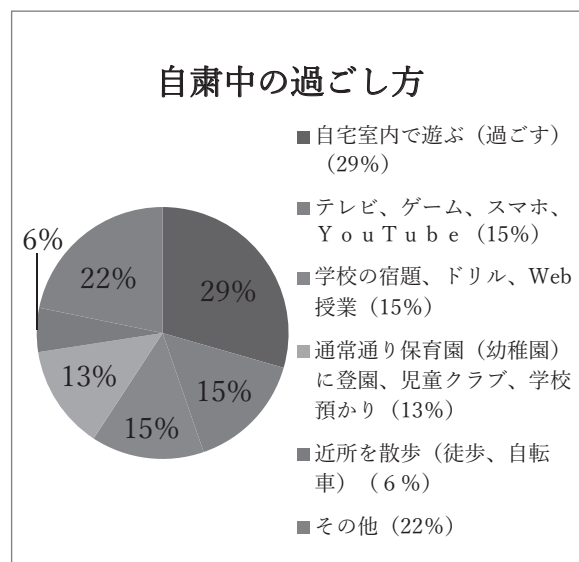
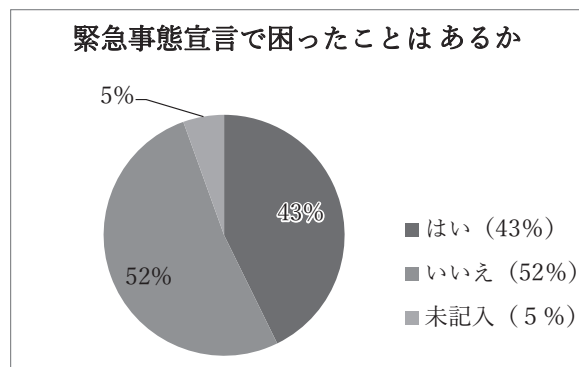
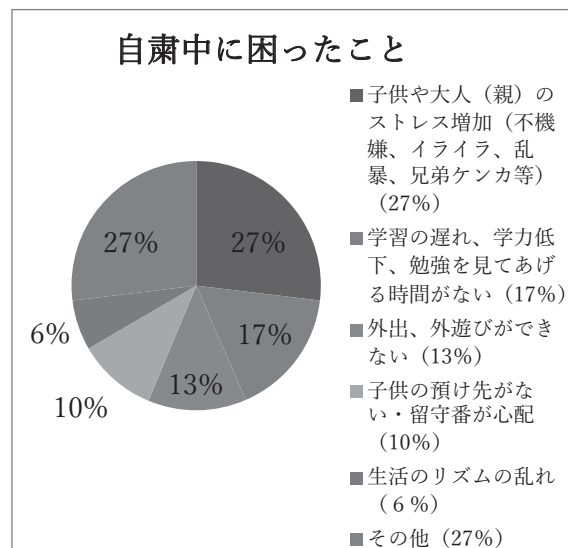


緊急事態宣言で43%困ったことがあると回答しており、具体例として出張や外出ができないことによる物理的な面とストレスを挙げていた。子供の自粛中の過ごし方として大半が自宅で勉強したり遊んだりして過ごしていたが、通常通り保育園に預けたり児童クラブや学校に預けている職員もいた。



自粛中の困ったこととして、子供をもつ職員は子供が自宅で過ごす時間が長くなることで親子のストレスによりイライラしたり、不機嫌になった

り、兄弟げんかが増えたとの回答が多くみられた。勉強の遅れや学力低下を心配した回答もそれに次いで多かった。外遊びができないことや子供の預け先がなくて困ったとの回答もあった。



センターに期待する支援の問いに対しては、これまで通りの支援を継続してほしいという意見がある一方、休園、休校時の預かり先を提供してほしい、病児・病後児保育、バックアップナースの対象拡大、増員してほしいとの回答が多かった。

当センターでは病児保育を行っているが、院内感染のリスクを避けるため緊急事態宣言時は受け入れ児を外傷のみとして対応した。感染症の性質上、院内感染を未然に防ぐ意味でも緊急事態宣言時での児童の預かりは困難と考える。毎年定期開催しているセミナーも中止し、解除後はWebでの開催を予定している。今後も長引くであろう新型コロナウイルス感染症だが、このような状況下であっても支援できることを模索し、これからも発信していきたい。

新型コロナウイルス感染症関連情報

新型コロナウイルス感染症に関する日本医師会からの通知等は、北海道医師会ホームページ「医師の皆様へー感染症情報」に掲載しています。

URL : <http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/infection.html>